



北海道大学プラス・ミュージアム・プログラム クロージングフェスタ

1回だけの参加、オンラインでの参加、遠方からの参加も歓迎します。

参加者募集

対話と寄り添い

2月11日 講演と対談「ミュージアムの価値をどう創造するかー経営における対話と理解ー」

プラス・ミュージアム・プログラムは2022年度において座学を中心にさまざまな内容でプログラム展開してきましたが、共通するテーマはことばによる他者との「対話」とチーム・組織における「理解」形成の重要性でした。今回の講演と対談では、経営学におけるマーケティングやブランディングが専門の石井淳蔵先生、評価学において協働型評価を活用してプロジェクトの改善を促してきた源由理子先生からのご講演を受けて、ミュージアムを含むさまざまな組織や地域社会における対話と理解のあり方を考えます。

登壇者 石井 淳蔵「地域ブランドは進化する」

経営学者。専門はマーケティング、ブランド論など。神戸大学名誉教授、流通科学大学元学長。商学博士。著書に『マーケティングの神話』（岩波現代文庫）、『ブランド 価値の創造』（岩波新書）、『ビジネス・インサイト 創造の知とは何か』（岩波新書）、『進化するブランド - オートポイエーシスと中動態の世界』（碩学舎）ほか多数。

源 由理子「評価における対話と共創のマネジメント」

評価学者。専門は政策評価、プログラム評価、協働/参加型評価、社会関係資本。明治大学副学長・専門職大学院ガバナンス研究科教授。博士（学術）。著書に『参加型評価 改善と変革のための評価の実践』（編著）（晃洋書房）、『実践家参画型エンパワメント評価の理論と方法』（共編著）（日本評論社）、『プログラム評価ハンドブック』（編著）（晃洋書房）ほか多数。

- **申し込み** 事前の**申し込みが必要**です。参加費は無料です。ご希望の方は <https://forms.gle/JJ5J6TBgMVXgexiz5> または QR コードより申し込みフォームへとお進みください。締め切りは2023年2月10日（金）13時です。*事前にレジメを参加者に配布いたします。



2月12日 情報交換会

「地域とともにあるミュージアムのあり方を考える」

- オブザーバー参加も可能です。詳しくはお問い合わせください。
〒060-0810 札幌市北区北10条西7丁目北海道大学文学研究院内「プラス・ミュージアム・プログラム」事務局 Mail: plusm@let.hokudai.ac.jp TEL: 011-706-4053

プログラム概要

- 「プラス・ミュージアム・プログラム」は、わたしたちを取り巻くさまざまな課題にミュージアムならではのやり方でアプローチする方法を学んだりカレント教育プログラムです。主催：北海道大学文学研究院 共催：北海道大学総合博物館 助成：文化庁「令和4年度大学における文化芸術推進事業」（事業名「ミュージアムにおける異分野との「対話」と「寄り添い」を通じた人材育成事業」）

